

新型コロナ感染症と闘いましょう！ 密閉、密集、密接を避けて、手洗い、うがいを忘れずに！

“ふるさとちば”のための政策推進を

茂呂つよし県議会レポート

発行 / 自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話043(227)7411

音楽の力で千葉に活力

茂呂委員長が審議報告

9月議会環境警察常任委



議場で委員長報告をする茂呂県議

八千代市選出で地方創生に尽力する茂呂剛（もろ・つよし）県議は2期目。7月、県議会環境警察常任委員長に就任しました。9月定例県議会における同委員会の審議では、付託された一般会計補正予算案は賛成多数で可決すべきと決しましたが、委員会における自民党の質疑の模様を報告します。また、自民党の代表質問の中から茂呂県議が特に心を砕いてきた防災や児童相談所の拡充などについての質疑も紹介します。

警察本部関係の質疑

自民党委員 信号機の新設が年々減っており、心配しているが、設置の考え方で減少の理由を伺いたい。

県警交通規制課長 令和元年度末の信号機設置基数は8431基に至っております。これまで設置要望が寄せられているのは約900カ所と説明してきましたが、信号機設置の指針に照らし、設置が必要とさ

れたのは148カ所でした。このうち、信号機を建設できる場所があるなど物理的に可能な44カ所は今後整備していきます。残る104カ所については道路形状の改修などを道路管理者に求めていきます。

新設基数が減少している理由ですが、自動車利用が緩やかに減少する中、これまでに設置を進めてきた結

果、設置指針に合致する箇所が減ってきたものと考えています。

県警としては、指針に合致し、必要性や緊急性が高い箇所は引き続き設置を進める一方、学校が廃校になったり、バイパスが整備され交通量が低下したりして必要性が低下した箇所については、他の必要性が高い場所へ信号機を移設するなど総合的に対策を図ってまいりたいと考えています。

環境生活部関係の質疑

環境生活部長 新型コロナウイルス感染症の影響を受ける中で、音楽で千葉を元気にするため千葉交響楽団と県内各地の高校吹奏楽部の生徒が連携した演奏会やファミリーコンサートを実施します。

また、国は令和5年度末までに二ホンジカとイノシシの個体数を平成23年度比で半減する目標を達成するため、本年7月に全国の都道府県にさらなる捕獲強化を要請しました。これを受け、県では二ホンジカでは県中部の4市町（市原市、君津市、富津市、大多喜町）を新たに捕獲強化エリアに設定。イノシシではCSF（豚熱）の感染拡大防止対策として、昨年10月より捕獲重点エリアに設定している県北部の6市町（銚子市、旭市、成田市、印西市、香取市、東庄町）の捕獲を強化します。

自民党議員 県内高校吹奏楽部のコンサートとはどのようなことをするのか。

県民生活文化課 コロナ禍で、各種コンクールが中止となり、発表の場を失った生徒のため、活動の成果を発表するコンサートを開催したいと思っております。開催

にあたり、新型コロナウイルススガイドラインに基づき、検温やマスクの着用を徹底するほか、入場制限も検討しており、当日の動画配信も検討しています。

自民党議員 ニホンジカ・イノシシによる農作物被害が深刻だが、捕獲強化でどの程度の効果を見込んでいるのか。

自然保護課 わなによる捕獲事業の日数を増やすほか、市町に協力を依頼し、わなを増設して捕獲を強化してまいります。これによりニホンジカの捕獲頭数は24%増加し5千頭前後に、イノシシは12%増加し1200頭前後になると見込んでいます。

●県政と八千代市に関するご意見・ご要望をお聞かせください。

茂呂つよし 県事務所
 〒276-0046 八千代市大和田新田1092-7
 TEL047-480-0244 FAX047-458-7033

自民党代表質問

房総半島台風から1年…

復興のつち音着々と

自民党代表 房総半島台

風による災害から一年が経過したが、復旧復興に向けた今後の取り組みは。

知事 県では昨年の台風・大雨災害から1年を迎えるのを機に復旧・復興の状況を確認しました。

その結果、被災住宅の復旧については、いまだ急務的な措置が継続している住宅があることから、市町村と連携し、業者紹介窓口の利用促進などにより、一層工事が進むよう取り組んでまいります。

また、被災した農林漁業者や中小企業への支援については、多くの支援策で要望の受付は完了し、各地で復旧が進んでいます。引き続き、事業の促進を図るとともに支給事務を進めてまいります。

さらに、防災体制の強化については、土砂災害警戒区域の指定を進めたほか、検証報告を踏まえて初動対応を見直すなど、災害対応力の強化を図りました。引き続き、県民の皆さまに安心して暮らしていただけるよう、防災力の強化に取り組んでまいります。



環境警察常任委員長として、県の新型コロナウイルス対策と台風対応の状況を視察する茂呂県議(中央)

き続き、県民の皆さまに安心して暮らしていただけるよう、防災力の強化に取り組んでまいります。

あり
検挙数 278 件増
運転摘発強化

自民党代表 改正道路交

通法施行後のあり運転に対する取り締まり状況及び対策状況はどうか。

県警本部長 県警では交通に危険を生じさせる悪質・危険な運転を未然に防止するため「車間距離不保持違反」など「あり運転」になるおそれがある違反行為について積極的な取り締まりを推進し、本年8月末現在で昨年より278件多い1158件を検挙しております。

改正道路交通法施行後には、千葉市内において前方走行中の車両の通行を妨害する目的で割り込みや急ブレーキを繰り返した運転行為を、新たに創設された「妨害運転」のうち、より罰則の重い「著しい交通の危険」の規定を適用し、全国に先駆けて立件しております。

さらに広報活動についても、さまざまな機会を活用して改正法周知に努めており、先般はヘリコプターを活用した陸空一体の取り締まり活動を広報したところ



新川沿いを視察する茂呂県議(右)ら

八千代に太平洋岸自転車道を

銚子市から和歌山県までの全長約1200キロのサイクリングロード「太平洋岸自転車道」。国が整備しているこの大規模自転車道に、茂呂県議

は八千代市を通る内陸のルート新たに追加すべく、10月7日に国会議員らと八千代市の新川沿いを視察しました。県内には千葉市の花見

川サイクリングロードから八千代市に入り、印旛沼を通り、利根川沿いから銚子市へ向かう自転車道があり、茂呂県議はこれを太平洋岸自転車

道の「中山道」としての考え。「太平洋岸自転車道の一部となり、街道の途中が宿場町のように栄えることを期待している」と力説しています。



新川沿いを視察した国会議員や県会議員、市議会議員ら

3児相新設へ調整進む 市川・柏で執務室改善 一時保護所の増設も

自民党代表 児童相談所の体制強化にどのように取り組んでいるのか。

知事 印旛郡市と松戸市、鎌ヶ谷市とそれぞれ管轄する児童相談所の新設については、現在、それぞれ地元市町と調整を進めており、未利用公有地の活用を基本として、交通機関等の利便性や周辺環境等の諸条件を勘案の上、早期に候補地が決定できるよう取り組んでいるところです。

執務室の環境改善については市川および柏児童相談所において職員の急速な増員により狭隘(あい)化が顕著となっております。

このため市川児童相談所では船橋市にある県消費者センターの一部を活用。柏児童相談所では民間施設を借り上げることで、来年度中に業務が開始できるよう準備を進めています。

要望 **自民党代表** 児童相談所の新設については、早急に候補地を決定していただきたい。